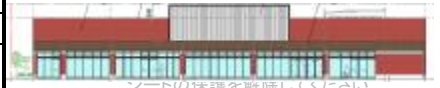


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)松源和泉砂川駅前店新築工	階数	地上1F
建設地	大阪府泉南市信達牧野	構造	S造
用途地域	商業地域、準工業地域、防火地域、	平均居住人員	400 人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,475 時間/年(想定値)
建物用途	物販店、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年11月 予定	評価の実施日	2019年6月5日
敷地面積	7,330 m ²	作成者	(株)エネ・グリーン寺川幸子
建築面積	2,347 m ²	確認日	2019年6月6日
延床面積	2,307 m ²	確認者	(株)エネ・グリーン定森純一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
生鮮食品スーパー松源の和泉砂川駅前店の新築計画。省エネルギーに配慮している。	特になし	
Q1 室内環境 通年にわたり、快適な温熱環境を実現できる空調機器の計画。	Q2 サービス性能 天井高さを十分に確保し、広さ感に配慮している。レストスペースを広く設け、利用者への快適性を高めている。ゆとりのある階高と空間の自由さを確保し、設備やプランニングの自由度が極めて高い。また、維持管理作業に配慮し	Q3 室外環境(敷地内) 地上緑化、壁面緑化により充実した緑化計画に取り組んでいる。
LR1 エネルギー LED照明の採用等、高効率設備機器を採用している。	LR2 資源・マテリアル 節水コマに加え、節水洋風便器、自動水栓を採用し、節水に取り組んでいる。躯体と仕上げ材が比較的分別容易な構造にしている。	LR3 敷地外環境 消費エネルギー量削減により運用時のLCCO ₂ 排出量低減に配慮している。オール電化により大気汚染物質を全く発生しない。充実した駐車輪施設の計画。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0058

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)松源和泉砂川駅前店						
	建設地	大阪府泉南市信達牧野						
	用途/区分	物販店						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						4	
④	エネルギー削減						5	
⑤	自然エネルギー直接利用						○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				4.0	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				3.5	4	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.6	5	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				4.0	○	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							